

# 2018年8月3日掲載 山形新聞

NIB *frontline*  
フロントライン

第一貨物

武藤 幸規氏 (74)

## 頑健で一生懸命働くこと



「業界の現状を踏まえ、自測するのはなかなか難しい社  
の取り組みは。」「ここ30年ほどの流れの中、移し、メリハリのある労働時  
で取引先はサプライチェーン間、人員配置に挑戦していき  
(調達・供給網)を構築するたい」  
「求める人材と育成方法を  
よくなり、在庫を持たな  
くなった。商品や資材がな  
くなったら、すぐに補給さ  
れなければ販売にならず、生  
産もストップする。物を届  
けるということはサプライチ  
ーンの中で重要な役割を担  
っている。単に運ばばいい  
わけではなく、どのタイミ  
ングで何が起きているかを絶  
えず把握しながら情報提供も  
しないとけない。また、近  
年はドライバーを中心に人材  
確保に苦戦している。自社で  
は働き方改革に向け、ビッグ  
データを活用した物量の予測  
に取り組んでいる。的確に予

測するのはなかなか難しい  
が、まずは今年から実行に  
移し、メリハリのある労働時  
間、人員配置に挑戦していき  
たい」  
「求める人材と育成方法を  
よくなり、在庫を持たな  
くなった。商品や資材がな  
くなったら、すぐに補給さ  
れなければ販売にならず、生  
産もストップする。物を届  
けるということはサプライチ  
ーンの中で重要な役割を担  
っている。単に運ばばいい  
わけではなく、どのタイミ  
ングで何が起きているかを絶  
えず把握しながら情報提供も  
しないとけない。また、近  
年はドライバーを中心に人材  
確保に苦戦している。自社で  
は働き方改革に向け、ビッグ  
データを活用した物量の予測  
に取り組んでいる。的確に予  
者を対象とした専門学校を設

★武藤 幸規氏(むとう ゆきのり) 慶応大商学部  
卒。プリチストーンタイヤ(現プリチストン)などを発足  
1977(昭和52)年に第一貨物自動車(現第一貨物)  
取締役に就任した。専務、副社長を歴任し、88(昭和63)  
年から社長。2012年に設立したグループ社の共同持  
ち株会社「ディー・ディー・ホールディングス」の社長  
も務める。東京都出身。

★第一貨物 1941(昭和16)年に山形合同貨物自  
動車として設立。90年に現社名に商号を変更した。貨物  
自動車運送をはじめ、物流システムの設計、運用・管理  
の受託などに関する各種事業を手掛ける。資本金1億円。  
従業員数は4276人(2018年3月末現在)。事業  
所は68カ所を有する。本社は山形市諏訪町2の1の20。

置している他、幹部候補生  
を対象とした研修制度を実施  
している。幹部候補生は会  
計、財務など幅広い専門知識  
を身に付けることで取引先の  
ニーズに対応できるようにし  
ている。上級管理者研修も行  
い、さらなるレベルアップを  
図っている。本社幹部を対象  
に経営に関する本を読む読書  
会もこれまで200回ほど開  
催した」  
「自らが仕事上で最も影響  
を受けた人物は。  
いろいろな人々に影響を受  
けたが、同業者以外では日  
銀出身でセブン銀行社長など  
を務めた安斎隆氏だ。『他に  
『自ら考えて行動し  
ていく生き方を見習って

【上場投資信託(EITF)】  
証券取引所に上場している  
投資信託。国内外の株価指数  
なく、特定の指標の値動きに  
連動する。株のように売買で  
き、元本は保証されていない。  
日経平均株価(2018年7月)や、  
東証株価指数(TOPIX)に連動  
する企業全体に幅広く投資す  
るのと同じ効果があり、手軽  
に分散投資できるのがメリッ  
トとされる。

いる。前会長の父親(幸雄氏)  
にもさまざまな教育を受け  
た。『トラック事業でもうけ  
るなんて考えては駄目だ。社  
員と一緒に仕事をする  
ことに喜びを感じるべきだ』  
という言葉が印象に残る。社  
員が働きたいのある会社、勤  
めて良かったと思える会社に  
したい」

経済ワード